

千葉県生協連活動報告



2021年度 第2回フードバンクと 千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会を開催しました！

2月17日（水曜日）2021年度 第2回フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会をZoomで開催しました。今年度のフードバンクと県内生協連携キャンペーンについて企画案をベースに今年度やりたいこと、できることなどのアイディアラッシュを行いました。

1. マスコミ等を使って社会へアピール

①記者発表（キックオフイベントの中身を始め全体の案内）

協賛、後援：県知事にメッセージを貰う

②メディアの人達にフードバンクを知ってもらえるようなツアーを企画

「食品を寄付する→フードバンク→寄付を受ける」フードバンクで箱詰めを体験しそれぞれの立場の人の思いを感じてもらおう。

★記者の人が一日で取材可能か、費用はどうか検討する

2. 組合員、消費者を巻き込んで社会へアピール

①フードドライブでギネス記録に挑戦する。イベントの目玉として

★費用、挑戦内容、認定について詳細を確認する

②箱詰ゲーム+中学生記者による取材ツアー

・箱に詰める食品を何種類か（米、おかず、菓子、飲料）などを準備し支援者の生活状況に合わせ何種類か選び箱詰し、何を選んだかを交流しお届け先のくらしを想像してみる。

★中学生記者は「夏休み宿題応援企画」の一環で募集

★オンラインでの検討、

★3か所のフードバンクにすべて行くのか、各地域のフードバンクに別々に取材に行くのかの検討

★発表の場、発表の仕方をどうするか

3. 目的の拡大

①JEF ちばジェッツなどにも協力をお願い

★募金やメッセージ



4. キックオフイベントの開催の仕方

★取り組み方法によっては、一か所に集まらなくてもキックオフイベントになるのでは？

★キックオフイベントという枠にとらわれず、フードバンクと生協が協働でフードドライブを社会にアピールするイベントとして視野を広げる。